

# 筑前續風土記

十二

庫	文	閣	内
三	函	一六五三	和書類
八	架	冊	號

庫	文	閣	内
五	函	三五五三	和書類
七	架	冊	號

内閣文庫	
番號	和 16553
冊數	28 (12)
函號	176 49





筑前國續風土記卷之十二

鞍馬郡目錄

明治十年購求

天照宮

普光寺

真方

雲心寺

山迄知古

福地山

福地山

勝野

奈良津

木屋敷

植木

不知幸

永満寺

塚磨

河住村

赤地村

吉野山

境園

尺農嶽

合別村

兼樂寺

宮田

極樂寺

若宮河内

若宮八幡宮

吉川河内

宝持現社

瑞石寺

湯原

清水寺

山古村圓通院

長谷寺

麻毛馬村

最明寺址

釜松

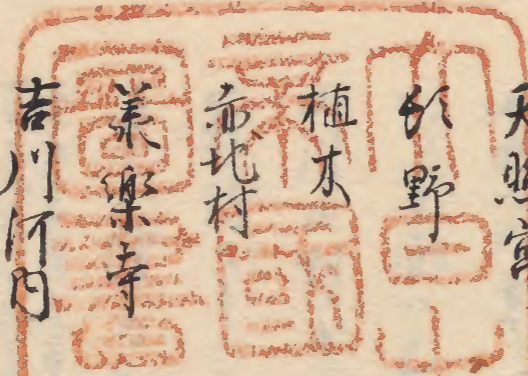
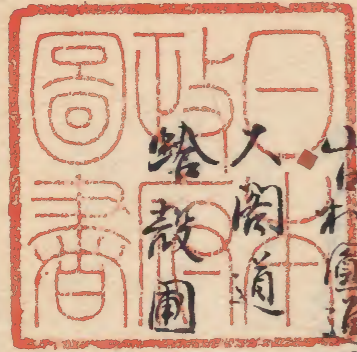
大園道

内山寺

縁山

大常山

大賀畑





今称より不<sub>レ</sub>以<sub>レ</sub>都<sub>一</sub>の村の名

沼<sub>ノ</sub>村

山口村

長井郷村

系田村

湯系<sub>ニ</sub>村

服田村

福光村

平村

三野村

今里村

倉尾村

常丸村

芥田村

金丸村

竹系村

系丸村

下村

乙野村

縁山<sub>ノ</sub>村

新延村

植木村

木倉瀬村

感田村

下新延村

中山村

吉門村

上木月村

下木月村

下大隈村

小牧村

上青木村

下有青木村

文永村

水糸村

此方<sub>ノ</sub>依<sub>レ</sub>三十村

灰野村

畑村

永満寺村

上坑村

下坑村

赤化村

浄徳村

智田村

鹿毛馬村

口ノ原村

野西村

金割村

篠田村

龍徳村

鶴田村

南長津村

新山傍村

山傍村

膳野村

砥光村

上大隈村

本郷村

文田村

室島村

八尋村

新小村

上新入村

知古村

山邊村

新多村

天照宮

磯光村あり信託 天照大神（一）（從五位下と授  
りきもふふと見えは 天照大神（二）（從五位下と授  
護持連日と云と天照大神（三）と云ふ事一旧事記（四）に有  
神（五）昔も是亦心の上より法（六）の事（七）の事（八）の事（九）  
の事（十）の事（十一）の事（十二）の事（十三）の事（十四）  
上谷の中其何と有今其何と佛（十五）の事（十六）の事（十七）の事（十八）  
あり一町禰の神徳と禰の事（十九）の事（二十）の事（二十一）  
ついでと祀り公答と云なり其後 神勅きて禰の一番（二十二）  
遷す一禰の事（二十三）の事（二十四）の事（二十五）の事（二十六）  
小石崎唯雄二飛けり而あり 禰の事（二十七）の事（二十八）の事（二十九）  
今の神廟の地をなりけ社（三十）の事（三十一）の事（三十二）の事（三十三）  
一の磯光の田地禰田村の地と有てきく禰田乃園

磯光の村源ありてきく一（一）の事（二）の事（三）の事（四）  
として近年の事（五）の事（六）の事（七）の事（八）の事（九）  
天照宮の事（十）の事（十一）の事（十二）の事（十三）の事（十四）  
禰の事（十五）の事（十六）の事（十七）の事（十八）の事（十九）  
大元（二十）の事（二十一）の事（二十二）の事（二十三）の事（二十四）  
神（二十五）の事（二十六）の事（二十七）の事（二十八）の事（二十九）  
是と新（三十）の事（三十一）の事（三十二）の事（三十三）の事（三十四）  
元年十二月十日（三十五）の事（三十六）の事（三十七）の事（三十八）  
の事（三十九）の事（四十）の事（四十一）の事（四十二）の事（四十三）  
禰の事（四十四）の事（四十五）の事（四十六）の事（四十七）の事（四十八）  
と改り（四十九）の事（五十）の事（五十一）の事（五十二）の事（五十三）  
立身（五十四）の事（五十五）の事（五十六）の事（五十七）の事（五十八）  
其後（五十九）の事（六十）の事（六十一）の事（六十二）の事（六十三）  
天照宮の事（六十四）の事（六十五）の事（六十六）の事（六十七）  
禰の事（六十八）の事（六十九）の事（七十）の事（七十一）の事（七十二）  
禰の事（七十三）の事（七十四）の事（七十五）の事（七十六）の事（七十七）  
禰の事（七十九）の事（八十）の事（八十一）の事（八十二）の事（八十三）  
禰の事（八十五）の事（八十六）の事（八十七）の事（八十八）の事（八十九）  
禰の事（九十）の事（九十一）の事（九十二）の事（九十三）の事（九十四）  
禰の事（九十六）の事（九十七）の事（九十八）の事（九十九）の事（一百）

君の命を以て為信縁記と仰りして納りま

常光玉寺

破光村日陽山の上より有村より登り筆三町洋をいへり  
大寺あり七堂悉く備りありと云今ハ毘沙門堂の跡を  
山より北に是を洗地と云常に有るを早も乾く  
と云

直方

此邑は連寺といへり新入村の境内形をいへり  
念久村内山寺の末寺連寺といふ寺あり此邑の名を  
延宝三年改て直方と号す是ハ其の初なり  
山村の名をよりり名をり元和九年長政が折額を  
丹達命しておぼやけり上を賀籠り高産之郡なり  
四十三村四万石の地を割りて其末に東市正所改り

りりらるる左の靴子郡舊に古城の造て佐由建言  
隆永三年丹忠之公家に井上周防吉田を被領し郡  
乃内を改政の居宅に成る地取と尋て楠橋珍徳下  
院ありて是をいへりけり此の地取と尋て  
かき入るなりと云此は家法法士より其里急を定む  
すハ移りぬ又高も多し其の町と尋て編戸の民と云  
者其家業といふ形は是より一の廣邑と云り此は改  
寛永十六年病と云けて棄世し其子是なり其之江  
之跡其の地をいへり東市正に任と之勝寛文三年  
幸し此の地を後直方四万石の地と云り長政は此の  
地を月形と云り公命有て福岡に属せり元禄元年  
關立光之君に承へて次男黒田長清に直方四万石及  
新田を加へし四万石と云り此は直方の地なり同二年公

て舊宅の地と改り町見ふし新宅と立寄止塚と行は  
古堤と藤を穿つとと姉見の社いふの山より川より元源  
年中社人といふ祀部つかりて新より古の神名と多  
賀大明神と改むとの額、油小路大納言隆貞の御筆  
なりし

雲心寺 祥宗御家

積翠山と号す小邊村の境目あり用山、大徳寺の江月

和尚よりして宗福寺の末寺なり寛永年中に立茶市

隆政 長政の四男寛永六年十月十二日卒は名宗下 後市心之胎 慈之公の二男寛文三年七月廿二日卒は名宗賢 の墓石位牌

を寺産六十石之胎よりと築造し終ふ

山邊報告

け村首は新入の板村形よりして寛永十六年略く別村

と形ふ

長野

大色形り村中川流て其東に山よりして境内を廣し

好村あり

福地山

又福智庵とも云ふ山は東方の山

長野村に在り此山の峯とて茶末院後の境とも云ふ

東方の山にひるふ山形り福智山は寛永山の東方

有る云と云ふなりと寛永山よりして松よりかみさし

福智の頂に社を福智権現と号す其山内神形りとも

い社堂子ある山の境ありと云ふ是の乾の方の村擔形と流

中属より好むと云ふ國よりして其山を神形り地のみ

上より老初の桑詣と形やと云ふ此の桑北の俵あり

多しとて明暦年中け山の半版門、被とて其社とて

桑とて其前より亦上野村下して社とて立あり



らりして昔茶籠茶多ふ所社をておわじき者との多  
とほしむ今のはらし神社ふし十月十二日恒例の多  
りて山下小原筑而きて神樂法師あり遠近の人ほ  
いていとあきつしき祭禮あり

勝野 古戦場

は村じし野原ありて民家ふし近代村落と形せり  
新油村就岳の城守松氏といはれ村持現山の城主何宗と  
序と合戦をしし松氏五方けり不き勝利とけり松小  
勝野といふも村中木麻を敵軍連つり是持現山の城主  
形りし人西や又馬塚といふあり是もむし合戦のむし時  
ろと地し不形りしとや新山崎村も奈良長み辛み初てま  
村形り

奈良良津

此村じし大川のそとち境きい少なり延寶四年洪水の患と  
りて今の所まらけり

木尾瀬

むし勝光上人種波郡明是寺再真の所本後白杵家あり  
秋木と奇跡ありとらと相みつし蓋を川より上と世下の河邊  
木尾とつけて入まら其下と木尾の流とま今地本の五尾の  
宿禰とありて民家多し

植木

東小の方面を木尾流とて言ふあり西の方(通)宿禰  
形りし是よりと赤間へは民家多し所のうら形りあり  
偶優ロウウキのまじ所あり家数三十軒程あり是宣也山人と祖  
ろと考九品念佛とのを修りせり村中四の字に九品回と三品ありと  
今、秋、年、徳、偏、と、以、て、之、の、業、を、と、り、持、多、事、福、寺、の、寺、中、

志摩郡泊村の大日遠賀郡意居の念仏乃乾形し又町の雪  
大池を南小六所東西四所半あり水多くして國中あり  
九二二の大塚形り下の田比と漫と此地は蓮葉實多し

志如寺

高尾と号と種亦所より長谷の村より寺風十石寺所  
あり

釵岳 ひし嶽 郡の中矢小只  
一とあり中山と云ふ

中山村あり村より七所を坂と登り山より釵大明神の社を故に  
釵岳と号と社の巽より北に九世に釵大明神より社に  
ありありと中山村經人龍徳新小新近ト本月是賀人の  
本城村形り

永満寺 天台宗

大興山往生院と号と後改て双栴院といふ寺有故に村の  
名とも永満寺と号とえの上場村あり開基の時代詳  
不明に比叡山の末寺形り常寂山の持師あり天文八年大内  
家より九所七所の寺願と寄附せり是より寺と成りあり  
け村山中閑寂の地あり世俗の塵埃とは好まきけ寺近年  
坐方へより坐方先の若君思因之勝より寺依十石寄附  
あり

塚麩

永満寺の枝村に塚麩と云ふ塚麩山西瀧寺と云ふ常閑  
宗の寺有是寺常寂山田河郡奥國寺の末寺形り山中に  
ありと閑寂なり寺院あり

御徳村

元和元年より同四年ありて是より村あり

赤地村

赤地村の東の川の北岸田河那より出上境下境と中泉  
村との間を流るる車方の町乃東より赤摩川と一水なり  
赤廣川より水とく形一と名も赤摩川と流るる大川  
終る舟ものほり赤地村の西川の男めり

吉野村

村籍の從ひびり大和と吉野よりと吉野友と子人等て  
吾位せり所は村の名と吉野と云吉野と南朝とて  
肥後の南地と南朝の屬一此國の内よりなり  
かへり吉野よりと南朝の人等より任ける形也  
因て吉野の藏王権現と勅法も其時社なり一  
今ハ権現山と云其後彼山といひ人々増し築一  
藏王権現と今の木移して又此木と吉野山と名  
くひりの藏王権現の社を一吉野山といひ此の吉野  
山の下人家のまもと吉野村といふ今ハ此徳の枝色なり  
藏王権現と一社ハ妙見と云なり

境園

上境下境村めり此園よりして肥後の地なり此土郡井  
系村の境園と名と此を云を何れも此中を此の  
此取ハ紅花と多く此より上境より下境の園を廣く田川  
系の東めり

尺の嶽

赤野村のたけめり此山なり此山の西ハ赤嶽めり

合割村

此村の東ハ赤嶽と云山なり此山は赤田合割の上なり此  
山は多り山形も其より赤嶽権現の社あり此山  
神と云一木や村老の云傳も此山割の若と云

昔は西女令別寺と云寺あり一在村の名をも令別村と  
云所あり一々無業の所あり一いつの比もや礼水のとき  
法盗入て寺中を併一掃ひ寺中多くを一見する所あり  
し迹跡あり一と述河あり一は町一埋ち一墓あり一是れ  
よ川に其比と見り糸といふ又岡寺は尼寺の跡及墓を  
及藤田村中比の香月村に属して是を賀部村と述す  
比より教の郡に属して香月の枝邑とい稱せ其地  
皆名り其教の郡に属して事いしなり一は教の郡に  
一と中比礼世の時ありて香月村に属してなり一

### 兼樂寺

福壽山といふは藤田村にあり本尊茶臼佛、行基の作と  
云阿保院四天王十二神等あり村氏の云傳一は越前國  
之福の茶臼山城園藤谷の茶臼と世茶臼合て三神と云  
一亦あり行基刻ありと云

### 宮田

宮田就池新入の三村、着衣河内への入りあり新入と下りて  
宮田と上りて一就池、其中あり三村ありあるの男あり  
村あり着衣河内大賀畑の川、宮田の上あり一あり合現住  
新入の山間と云て其尾根とくあり大川と一ありなり宮田近  
水邊あり川舟多あり其の農、兼と云田あり一舟あり  
兼尾一下と近年、下は堰あり出あり一宮田舟舟のほり宮田  
乃境目舟大なり石室有南あり一宮田舟舟のほり宮田  
廣し舟舟あり入らせしは内舟石佛十六所漢ありと  
今三田を自奥のわたり舟あり一たし舟に宮田よりと  
長井路の方に四所あり舟道ありと十舟舟右の方ありと  
舟あり何人の造立ありと云

極樂寺 片上末法西流

光明山と号す文田村の初恩院の本寺なり開基の時代  
詳なり古寺なりといひ慶長十六年丹長改二百名の  
寺を断り漸く法いし其後散りて絶多し是田路改其  
母大涼院長政の夫人のたし其報なり墓所を築き位牌とあり  
して月毎に淨禮ありと築き地ありは是より又寺石  
乃寺を断り断りなり

若宮河内

倉久四良丸上有末下有末芥田系田合丸水系竹丸多紀系村  
黒丸合生福丸岩野伊賀川三村長井路  
村の村あり下田村出田村の  
村あり吉比福光の  
村あり  
古河上以上十九村是を若宮河内と号す河内の山中ありて  
越前部の最奥に在り山あり川流して能成地なり其境内  
より系村丹若宮八幡ありて郷中の惣社なり故に若宮と稱す

其川は山より流き出治々村を経て合丸村の下めて若川河と  
一水なり

若宮八幡宮

水系村小有是 仁徳天皇と系系系社あり 仁徳帝八幡の  
所あり故若宮と稱す一説に村翁の云傳は久久之の以人々  
小次郎と云し者無源を當年と神ありはし若宮八幡と云  
是の事なり信をいしはと云中記同貴皇懐ると云し人非  
教と再興なり寛永年中丹村氏其願成と祈けりて  
修造せしは社の若宮河内の惣社なり若宮河内とは若宮  
村ありて其名とすひしは  
社所多く跡ありしは今なきも其村の産靈なりは  
人々其はしは社と修繕より其破壊のなきは若宮水系  
村ありしは今の以備文の足田の中あり寛文十年今の  
地ありはなり

吉川河内

下村湯原服田乙野小伏今鯉山凡六村是と吉川河内と云  
いづれも村なりと連年鯉山由母と加ふ若く河内と云西  
郷より吉川の東よりなりと若く是はあよりなり其より今系と云  
とも系と一處してたりと吉川河内源のか啼山よりと出服田小伏  
系と云と今丸の下より吉川と云一なり

山王権現

下村少のり吉川河内小村の惣社なり何の時命詔せし  
りや年代詳なきに初て法皇の地と比叡講と云は列の  
山王の代よりかきまきる名なり寛安元年建立の梅礼有り  
天明九年小大内家の信宗、掃部忠盛秀とて子者は是と  
ち懐せし一町惣領右京近江透と云修護と云其後  
願破せしと大永七年大村又四郎無系と云者建立せり

又天正十二年松井新後秀心と云者建立も寛文十一年  
小吉川川の彦子も家法とい今の彦子新井神宮と建  
立して移り社地よりかきまきて石階とのほりより眺を  
目とよりこししり下め水流いさきより

瑞石寺 曹洞宗

丹鳳山と号も楠谷と云所あり今も村小庵も京田村よりと  
一里許を門前氏家かきまきりも里小寺と云谷のわく  
ゆりも所ありといと為と云と瑞石寺地あり海門、樹下石上の  
住居も本意なり瑞石寺地よりとあり其閑  
寂なり寺名もいふ感賞せしと云事あり神傷山行  
深憂破崖寺古し杜少陵の作つともか系なりなり  
世寺、無著和尚冥基の地かきまきり後小泉福寺の末寺  
なり小早川隆康の時寺のほり山村二十万坪斎院

せり其後長政よりと以奉代先例の如く高野を乞  
とて寺名とせり長政の元文判形に於て此寺に古き法衣  
ありと云著和尚着せり云々

湯系

粕谷郡藤原よりと云と誠て此村に古き藤原よりと  
萩の尾一里萩の尾よりと湯系一里有服田村の西のつま  
あひり温泉ありと云云其水より今もあひり温泉ありと  
二里有其上小茶師堂あり其色の田の字と湯系と云今ハ温泉  
の裡まであり湯系一田の川じり水色ハ世下も温泉あり湯系  
名付けり然らし

清水寺 よき宗

長門山と号も思丸村に有仁和寺の本寺なり本寺千手観音  
形り行基実基の地ありて本寺は行基の作と云傳あり

通達坊  
換板坊

寺傍坊十二区有と云坊中の名今ハ清水寺  
仲坊 實枝坊 實相坊 奥坊  
茶坊 向坊 裡坊 田井坊 奥坊

眼下小入る海を佳景なりけ山の上ハ雲と縷とて取あり

山口村圓通院 曹洞宗

平吉山と号れ山口村の内よりつま不知と云亦有天文二十年大内  
兼隆其檢任陶尾浪も既入在々全善の爲に教せり此村家像  
大正弘武胃の陽州小江を兼隆の爲に忠誠せり  
此兼隆の跡と云して此小教跡より自ら水の上と云  
少く討死せり陶全善の跡のうこ正氏の子四郎氏貞と陶の  
老かひりて大正弘武胃の家とつとてして天文廿年九月十二日  
宗像小下山家像の家人同公せり其の多し氏胃の才千代  
松尚年三歳少好ると云宗像の家伝等是と氏胃の  
後家の名よりして氏胃の跡とほり志らんとして其父亦大正弘武





どうせりやうり廿所斗を以て牧しるに麻毛馬の良なるを以て事あり  
村の名とせしめや亦此村の内大谷山の麓を前境と日王友と子  
長七尺許の石佛ありその例に寺を以て不と見え礎跡あり  
地と有いりなり寺ありしと云

### 最明寺址

四帝丸村の枝色あり昔に最明寺と云寺を以て今に云  
師堂の之残きつて最明寺時於四圍の時以て寺に宿せし  
しより云の寺と号せしと云

### 皇松

四帝丸村の田の字に皇松と云不き昔に大形の松樹居しといふ  
今に枯て朽し村の人の云傳ふに神功皇后委園退治の  
ついで此を通らせ給ひし御皇と云給ひしに因り皇松と号せし  
と云

### 大園道

四帝丸村倉久村の場所ありと大園と云秀吉を朝鮮征伐の  
たけ肥列名護屋より下り給ふ時海を渡りしに故に各河を  
首の道筋に草屋より藪を越りしに河を越りしに南の麓を  
越り四帝丸倉久へ下り四帝丸の枝村満能寺の邊より又  
西の方のよき山へ上り下りて赤岩の驛の東へ河を渡りて  
海に渡りし古道なり今古門柱より赤岩へ通るが道は  
長政公入國以後に造りし新道なり

### 内山寺

皇松と号し倉久村ありしに大寺ありて高野山法華院  
乃末寺ありしと云今に佛堂の遺跡あり例に伏見に  
香花と信ふが寺に不審明王ありしに天正の神燈大に  
炎上りて慶長二年の冬京の佛師松月とて新に不審の

像と刻彫りて安曇やみ盗人よきて今ハ形一其後末寺  
仲山寺頽破せしハ彼の本寺不動毘沙門寺本園寺於寺を寺  
主照法師の住り 觀  
音とよし安曇安曇とよしかハ下坊仲山寺万願寺とよし  
形とよし末寺とよし今ハ皆廢絶せり寺中丹波水河を是じ  
かハ湯洗及阿闍水とよし一と云法守ハ山主権現寶滿神  
形とよし一と云今ハ社とよし大門とよし又内山とよし西の  
中丹森とよし氏ハ行基の舟の墓形とよし一

縁山

け村慶長年中ハ農人三人おて多と信と今十戸を山とよし  
岩原とよし中ハ岩原とよし高寒とよし炭野とよし取て産とよしけ村も岩の  
あ屬とよし色もえより土地の神とよし吉河の山とよしけ村とよし  
脇田とよし縁山とよし岩とよしけとよし縁山の上東の山とよし岩嶽  
とよし一

犬啼山

脇田村の内形り脇田村とよし川ありとよし石多くとよし  
路ありとよしこの山とよし火の年とよし山形りしとよし岩枝多く  
麻のふとよしとよし白益とよし今ハ材木とよし形り  
け地ありとよし年炭とよし紙とよし流とよし船の橋ハナハ等も  
此山より今ハ紙とよし炭とよし下ハ河内とよし是ハ岩形り  
是よりとよし岩とよし山とよし越て粕谷の伊登ハ行一里古ハ所有  
薦野も行一里六所より道とよし岩啼とよし谷ハ紙とよし岩  
下よりとよし四所東より登きはたの方ハ岩の多とよし流もつとよし岩  
とよし形も其通形とよし今ハ粕谷の久弟村ハ越  
今ハ紙とよし下ハ岩ハ大河内とよし岩啼とよし此地もとよし近年ハ  
けとよしとよし岩啼山とよし福とよし大河内の一谷の内た右とよし岩  
とよし大河内の和とよし此山中に炭竈多し





本館蔵書  
川口

